

# 平成30年度 美馬市立三島中学校 学校評価総括表

美馬市立三島中学校長 横島 道彦

(学校教育目標)  
命を大切にし、自主的・自立的・創造的な力を備え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

校訓  
強 く…強い意志と強健な身体を育む  
正 しく…正しい人権意識と生き方を培う  
美 しく…美しく豊かな心と創造性を養う

学級数	生徒総数	教職員数	
4	39	11	

平成30年度  
重点課題

- ・子どもの命を守り抜く教育の推進・充実。
- ・わかる授業のさらなる展開。
- ・郷土愛を育む教育の推進・充実。
- ・ワークライフバランスを意識した働きがいのある職場環境づくりの推進。

めざす生徒像

- ・自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
- ・自他の人権を尊重する生徒
- ・思いやりのある心豊かな生徒
- ・たくましく生きる生徒
- ・粘り強く、誠実に努力する生徒

重点目標	評価項目	具体的な方策・手立て	自己評価	結果の考察及び次年度改善策
子どもの命を守り抜く教育の推進・充実。	・いじめを許さず、全ての生徒が安心して通うことのできる学校である。	・生徒会いじめ防止委員会を立ち上げ、生徒、教職員が一体となった取組を推進する。	A	生徒会を中心にいじめ防止の広報活動や講演により自他の命を大切にし、いじめを許さない風土が醸成されてきた。振り返り手帳や月1回の生活アンケートを実施した。全体的に望ましい生活習慣が確立されている。
	・生徒個々が自らの生活を振り返り、望ましい生活習慣を確立する。	・振り返り手帳の活用と個に応じた指導や声かけを励行する。 ・生活アンケートを月1回実施し把握する。	B	
わかる授業のさらなる展開。	・学力向上及び特別支援教育の推進・充実に取り組む。	・年度当初に決めた年間時数を100%確保する。 ・各授業毎に本時の目標を明確に生徒に周知するとともに授業の最後には本時の振り返りを行う。	B	B 年間時数を100%確保し、本時の目標を生徒に周知した。またTTや個別の教科支援を行った。学力の向上を図り、家庭学習のアドバイスが必要である。
郷土愛を育む教育の推進・充実。	・三島の自然・歴史・文化を学ぶ機会を増やし、三島の良さを職員・生徒が認識する。	・小中行事の合同開催を3回実施する。	A	A 地域と学校が一体となって各行事に参加した。納涼祭やもちつき天会に参加した。総合学習で地域人材を活用できた。
	・三島が「好き」と言える生徒を育てる教育活動を推進する。	・地域行事に必ず職員が参加する。 ・地域の人材を活用する。 ・校区を歩いて自然 ・文化等に直接ふれる機会を持つ。	A	
働きがいのある職場環境づくりの推進。	・会議を精選する。 ・職場の協働・同僚性を高める。OJTを効果的に機能させる。	・「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」「いってらっしゃい」「ただいま」が飛び交う職員室にする。 ・常に報・連・相ができる雰囲気をつくる。	B	B 会議を精選し、常に報連相ができる雰囲気できた。企画委員会や職員会の効率化を一層図りたい。

(評価基準 : A 十分に達成できた B おおむね達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)

### ◆学校関係者評価委員会の評価

「三島ならではの」生徒一人一人の個に応じた支援が各行事や授業を通してよくわかった。スマホ安全利用3箇条の広報活動もわかりやすくて良い。しかし挨拶励行や交通マナーの遵守等を繰り返しお願いしたい。

### ◆評価結果と次年度についての校長所見

本年度の目標は概ね達成できた。引き続き、命を大切にし、いじめのない学校づくりを努めていく。また個に添った指導を行い、個々の生徒の力を最大限に伸ばせるよう職員一丸となって取り組む。総合・人権・キャリア教育についても充実を図り、「三島が好き」と言える生徒を育てていきたい。